

環境影響評価審査書に対する事業者の主な対応

039	NEC湘南テクニカルセンター建設事業	
項目	審査書の指摘事項	事業者の対応
植物	<p>評価書案では、敷地の周辺に幅10メートルの緩衝緑地帯を設けるとしているが、実施区域西側の緑地は、自然豊かな酒匂川河川敷とこの事業によって建設される人工構造物との間に位置する重要な緩衝緑地帯となることから、極力広く確保する等の方策を検討すること。</p> <p>実施区域東側の緑地については、計画されている都市計画道路の位置等を明らかにし、この道路を考慮した緑化計画を検討すること。</p> <p>評価書案では、事業実施にともなって実施区域内の湿地に生育する希少な植物であるホソイ、ミゾコウジュが実施区域内から消滅するとしているが、これらの希少な植物の生育環境を確保するための方策を検討すること。</p>	<p>酒匂川と工場棟建物との間は、高木となるタブノキなどを中心に中・低木を混じえた植栽とし、よりボリューム感ある緩衝緑地とする。さらに、厚生スペースや駐車場周囲なども極力緑化する等、周囲への影響を極力軽減する。</p> <p>都市計画道路が実施区域東側の一部を含んで計画されているため、実施区域と都市計画道路との間に、落葉樹を中心に季節感豊かな植栽を行い、道路建設後の歩行者等に快適な空間を提供するように配慮する。</p> <p>調整池の一部の湿生植物の生育に適した水辺空間を整備し、ホソイ、ミゾコウジュ等を移植して保全を図る。</p>
動物	<p>評価書案では、周辺地域及び酒匂川河川敷には事業の影響は及ばないとしているが、建設される工場の操業による周辺動物への影響も考えられるため、建物の外壁、夜間の照明、食餌木及び水飲み場の設置等について検討すること。</p>	<p>動物への影響をいっそう軽減するための方策として、建物の外壁はブルーグレー系とし、窓ガラスは光の反射の少ないものとする。また、夜間照明については、昆虫類を誘引しないよう赤色系のライティングを採用する。さらに、モッコク、ナンテン等の食餌木を植栽するとともに、調整池に水飲み場を設置する。</p>
景観	<p>本件事業は、酒匂川沿いの開放的な景観を有する地域に、大規模な工場棟等を建設するものであるから、この地域の優れた景観を極力保全するため、建築物の高さを極力低く抑え、さらに周囲と違和感のない建築物の形状や色彩について検討すること。</p>	<p>建物の高さについては、屋上パラペットの高さを0.5m低くする。また建物の形状については、酒匂川に面するエレベーターを横引シャフトに変更することによりエレベーター機械室を3m低くし、パラペットと同じ高さとする。さらに、建物の外壁についても地域の景観と違和感のないブルーグレー系とする。</p>
交通安全	<p>評価書案では、工事中及び供用後における主要な進入経路になる県道栢山停車場曾我線と実施区域東側道路との交差点における交通に与える影響について予測、評価を行っていないので、同交差点の交通に与える影響について検討すること。</p> <p>評価書案では、通勤、通学時間帯の工事用車両の通行規制や供用後の自主交通整理等の交通安全対策を行うとしているが、実施区域東側道路は、朝夕の通学時間帯における自転車交通量が多いにもかかわらず、道路幅員が5.1mと狭いうえに、歩道も整備されていない状況であるので、通勤、通学者に対する交通安全対策について具体的に検討すること。</p>	<p>工事中及び供用後における当該交差点に与える影響について予測を行った。その結果、実施区域東側道路から県道栢山停車場曾我線へ右折する交通に対する影響は、工事中は軽微であるが、供用後の夕方の時間帯において影響があると予測される。しかし、同交差点は都市計画道路の計画路線に含まれており、この道路の開通によって影響は解消され则认为られる。供用後、当面は、評価書案にも示したとおり、時差通勤を実施することにより交通渋滞の緩和に努める。</p> <p>実施区域東側道路(町道)には歩道がないために、実施区域全面及び南側隣地の道路沿いに歩道を整備し、歩車道分離を図る。</p>